

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 7月21日更新

事務事業名		「紙芝居がやってくる」実施事業						☐ マニフェスト関連 ☒ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり						所属部	教育委員会	課長名	上原 哲也
	施策	20	生涯学習の推進						所属課	生涯学習課	担当者名	竹田 直広
	基本事業	68	学習やスポーツへの参加機会の提供						所属班	図書館班	(内線)	2512
予算科目		会計一般	款10	項5	目8	事業連番10782	法令根拠	図書館法		成果優先度評価結果	⑥	
										コスト削減優先度評価結果	⑨	
終了、開始年度		☐ 22年度で終了 ☐ 22年度から開始						事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)			

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】	屋外で昔ながらの紙芝居公演を春休み期間中と秋の読書週間期間中計2回実施する・平成18年度より、読書週間および春休み中の図書館行事として開始した。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	ボランティアの方に依頼し、市民や図書館利用者へ公演の周知をする。ボランティアの方と打ち合わせをし、演目・当日の進行などを打ち合わせ、実施する。
【主な予算費目】	報酬費、謝金、消耗品費
【意見や要望】	・楽しかった、懐かしかったという声を聞いた。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	

1 現状把握の部（DO、PLAN）

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO)		23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
・11月と3月にボランティアの方に来てもらい、紙芝居の公演をした。時間は1時間で、11月は外が寒く、3月は雨が降ったため、図書館内集会室で実施した。		22年度と同様11月と3月の2回実施予定
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
⇒ ア 開催回数	回	
⇒ イ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
・図書館利用者の小学生以下の子どもとその保護者	⇒ ア 開催日の図書館来館者数	人
	⇒ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
・昔ながらの移動紙芝居の公演を行うことで、子どもたちにはなしの楽しさを知ってもらう。	⇒ ア 参加者数	人
	⇒ イ	
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
① 活動指標	ア 回		2	2	2	2	2	2	2	
② 対象指標	ア 人		603	450	600	473	600	600	600	
③ 成果指標	ア 人		242	99	200	116	200	200	200	
投 入 費 用	事業費	国庫支出金	千円		3	3	3	4	3	(期間限定複数年度のみ記載)
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	1	8	7	7	6	7	
	人件費	(A) 事業費計	千円	1	11	10	10	10	10	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	
		正規職員従事人数	人	2	3	2	4	2	0	
トータルコスト(A)+(B)	延べ業務時間		時間	8	24	8	65	8	0	0
	(B)人件費計		千円	32	95	31	267	32	0	
			千円	33	106	41	277	42	10	

事務事業名	「紙芝居がやってくる」実施事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は22年度的事後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した 当初の計画通り22年度中に2回実施した。	☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 来館者の多い土・日曜日のどちらかで実施する。	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ・紙芝居開催の周知の仕方をもっと徹底すれば参加者数を増やすことができると考える	☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 市内にはおはなしボランティアの方があちこちで紙芝居やおはなしをしている。連携は可能。	☐ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 1回の公演につき2,000円の図書カードを謝金として渡している。また、参加した子どもには昔の遊びである紙風船を手渡しているが、低額のため削減余地はない。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 実際用具の準備やおはなし自体はボランティアの方にしていただくので、正職員はほとんど手を掛けていない。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 低予算で多くの子どもたちにお話をしている。公正である。	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 事業に関してはほとんどボランティアによって行われており、広報と会場の準備のみ職員が行っている。	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

紙芝居を開催するにあたってかかる費用はボランティアに支払う謝礼と消耗品代である。観客は無料で参加することができ、懐かしい気分を味わえると好評である。日本に昔からある文化の1つであり続けていく価値はある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								